

鳥取県の推計人口（年報）

【令和3年10月～令和4年9月】

鳥取県人口移動調査において、1年間（令和3年10月～令和4年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

1 鳥取県の推計人口

鳥取県の推計人口は543,615人、615人で、前年に比べ4,947人減少し、平成8年以降27年連続の減少となった。

令和4年10月1日現在の推計人口は543,615人で、前年に比べ4,947人減少し、世帯数は221,648世帯で、前年に比べ955世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 (男性/女性) ×100	世帯数（世帯）	1世帯当たりの 人員（人）
	総数	男	女			
令和4年(a)	543,615	260,026	283,589	91.7	221,648	2.45
令和3年(b)	548,562	262,227	286,335	91.6	220,693	2.49
対前年差(a-b)	-4,947	-2,201	-2,746	0.1	955	-0.04

年齢3区分別の構成割合は、年少人口は12.3%、生産年齢人口は54.4%で、ともに過去最低、老年人口は33.3%で過去最高となった。

年齢3区分別の人口を前年と比べると、年少人口は1,165人減少し、生産年齢人口は4,023人減少した。一方、老年人口は241人増加した。

区分	人口（人）	構成割合（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	65,923	12.3	-1,165	-0.1
生産年齢人口（15～64歳）	291,508	54.4	-4,023	-0.3
老年人口（65歳以上）	178,155	33.3	241	0.4
うち75歳以上	93,901	17.5	2,433	0.6
総人口	543,615	—	-4,947	—

注1) 総人口は年齢不詳(8,029人)を含む。

注2) 構成割合は総人口から年齢不詳を除いて算出。

2 人口動態

1年間の人口動態は、自然増減、社会増減ともに減少し、減少幅は前年に比べ102人拡大した。

人口増減では、自然増減は4,155人の減少、社会増減は792人の減少、合計4,947人の減少となり、減少幅は前年に比べ102人拡大した。

(単位:人)

区分	人口増減	自然増減			社会増減		
		自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和4年(a)	-4,947	-4,155	3,736	7,891	-792	10,060	10,852
令和3年(b)	-4,845	-3,795	3,698	7,493	-1,050	9,334	10,384
対前年差(a-b)	-102	-360	38	398	258	726	468

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

自然増減は、4,155人減少し、25年連続の減少となった。

出生数は3,736人で前年に比べ38人増加し、死亡数は7,891人で前年に比べ398人増加した。

月別では、出生数は令和4年8月の346人、死亡数は令和4年1月の766人が最も多く、すべての月で死亡数が出生数を上回って自然減少となった。(最大減少月:令和4年1月、495人)

社会増減は、792人減少し、22年連続の減少となった。

県外転入者数は10,060人で前年に比べ726人増加し、県外転出者数は10,852人で前年に比べ468人増加した。年齢5歳階級別の社会増減は、60～64歳が131人と最も増加し、20～24歳が663人と最も減少した。

(単位:人)

区分	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
県外転入	552	289	136	758	2,161	1,699	1,157	811	579	459	409	331	272	151	121	175
県外転出	510	309	162	1,010	2,824	1,865	1,114	759	568	496	406	282	141	109	83	214
社会増減数	42	-20	-26	-252	-663	-166	43	52	11	-37	3	49	131	42	38	-39

3 市町村別推計人口

推計人口が最も多いのは鳥取市の186,045人、最も少ないのは江府町の2,507人

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の186,045人、次いで米子市の146,148人であり、最も少なかったのは江府町の2,507人、次いで若桜町の2,661人であった。

前年と比べると、年少人口割合は5町村で上昇、生産年齢人口割合はすべての市町村で低下、老年人口割合は日野町を除くすべての市町村で上昇

年少人口割合は日吉津村の14.8%が最も高く、次いで湯梨浜町の14.4%であった。前年と比べると、湯梨浜町、北栄町、日吉津村、日野町及び江府町で上昇し、岩美町で同水準、鳥取市など13市町で低下した。

生産年齢人口割合は米子市の57.0%が最も高く、次いで鳥取市の56.9%であった。前年と比べると、すべての市町村で低下した。

老年人口割合は日南町の54.2%が最も高く、次いで日野町の51.3%であった。前年と比べると、日野町を除くすべての市町村で上昇した。

区分	人口構成状況
年少人口割合(0～14歳)	[上昇] 湯梨浜町、北栄町、日吉津村、日野町、江府町 [同水準] 岩美町 [低下] 上記を除く、13市町
生産年齢人口割合(15～64歳)	[低下] 全市町村
老年人口割合(65歳以上)	[上昇] 下記を除く、18市町村 [低下] 日野町

4 市町村別人口動態

人口増減は日吉津村を除くすべての市町で減少

人口増減は、日吉津村で11人増加したが、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の1,193人、次いで米子市の605人であった。

自然増減はすべての市町村で減少

自然増減は、すべての市町村で減少した。最も減少したのは鳥取市の1,064人、次いで米子市の696人であった。

社会増減は米子市、湯梨浜町、日吉津村及び日野町で増加し、その他の市町で減少

社会増減は、湯梨浜町で93人、米子市で91人、日吉津村で24人、日野町で20人増加し、その他の市町で減少した。最も減少したのは倉吉市の159人、次いで鳥取市の129人であった。

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への648人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への560人

県外転入者は島根県から米子市への648人が最も多く、次いで外国から鳥取市への436人であった。

県外転出者は米子市から島根県への560人が最も多く、次いで鳥取市から大阪府への422人であった。

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	鳥取市	米子市	琴浦町	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
外国	1,257	436	250	130	441	758	271	136	71	280
島根県	1,207	648	233	164	162	1,152	560	252	126	214
大阪府	1,023	402	276	70	275	1,168	422	342	98	306
岡山県	919	320	319	103	177	808	291	266	62	189
兵庫県	897	429	226	70	172	916	402	243	53	218
広島県	694	288	225	61	120	814	302	298	56	158
東京都	601	212	194	53	142	956	363	295	70	228

<参考> 外国人(国籍不詳を含む)の推計人口・人口動態

推計人口は9,716人で、前年に比べ486人増加した。

令和4年10月1日現在の推計人口(国籍不詳5,118人を含む。以下同じ。)は、9,716人で、前年に比べ486人増加した。男女別人口は、男性4,255人、女性5,461人であった。

市町村別の推計人口は、米子市の4,115人(男性1,750人、女性2,365人)が最も多く、次いで鳥取市の3,395人(男性1,695人、女性1,700人)であった。

県外転入者数は1,643人、県外転出者数は1,143人で、転入超過数は500人

自然動態をみると、出生数は3人(男性3人)、死亡数は17人(男性10人、女性7人)であった。

社会動態をみると、県外転入者数は1,643人(男性794人、女性849人)、県外転出者数は1,143人(男性505人、女性638人)で、転入超過数は500人(男性289人、女性211人)であった。

市町村別の県外転入者数は、鳥取市の552人(男性281人、女性271人)が最も多く、次いで米子市の337人(男性170人、女性167人)であった。県外転出者数は、鳥取市の358人(男性200人、女性158人)が最も多く、次いで米子市の214人(男性88人、女性126人)であった。